

# 令和6年度 町内小中学校の目標と取り組み

誰もが幸せに生きる夢の実現に向けて  
各小中学校の目標と取り組みをお伝えします。

(写真：連合運動会の徒競走の様子)

教育だより  
問い合わせ  
学校教育課 内522・523



## 「格好いい中学生」をめざして

本校は開校七十八年目を迎える伝統校です。「継承の中の創造」のもと、伝統を継承しつつ創造的な教育活動を展開し、家庭・地域との連携を深め、信頼される学校づくりを推進します。

今年度は、「はじめに生徒ありき」を教育理念の第一にして、「生徒を中核に捉えた学校経営」を進めてまいります。学校は、生徒のためにあり、生徒の可能性を伸ばすところです。生徒を主語にした授業や学校行事、部活動等の教育活動を展開する中で、生徒の良いところを見出し、認め、褒め、励まして伸ばす指導を通して、自己肯定感・自己有用感の向上を図ってまいります。

そして、学校教育目標「格好いい中学生」(○学ぶ生徒、○貢献する生徒、○優しい生徒、○健康な生徒)の具現化に邁進していく所存です。

## 三芳中学校



【開校年】  
昭和22年  
【校長】  
林 武嗣

## 笑顔・夢・感動があふれ、自らの成長が実感できる学校

開校四十八年目を迎え、よき伝統を継承し、学校教育目標に「心豊かな生徒」「意欲的に学ぶ生徒」「たくましく生きる生徒」を掲げ、教職員が一致団結して教育活動に取り組んでおります。

本年度は、「確かな学力と学びに向かう力の育成」「豊かな心と健やかな体の育成」「生徒指導・教育相談の充実と不登校対策の推進」を重点に学力・体力の向上、ICT機器を活用した個別最適で協働的な学びの推進、不登校・いじめ問題への対応、生命の教育の推進、体験活動の充実等、推進してまいります。

また、授業・学校行事・生徒会、委員会活動・部活動などで生徒が主体となって活躍する場面を創造し、生徒の自己肯定感・自己有用感を高めてまいります。

## 三芳東中学校



【開校年】  
昭和52年  
【校長】  
宇佐見 宏一

## 「3あいタッグで生徒の育成」

本校の学校教育目標は「自ら考え進んで行動する生徒」、めざす生徒像は「自らよく考え意欲的に学ぶ生徒」/心豊かで思いやりのある生徒/健康でたくましく生きる生徒」です。そして、本年度の目指す学校像は「認め合い、学び合い、高め合う学校」です。生徒・保護者・学校(教師・地域)が互いに交差しながら成長できる学校となるよう掲げました。

また、昨年度から掲げた「藤中プライド(あいさつ・返事・言葉づかい)」も継続し、社会につながる生徒の育成を目指します。新生藤久保中学校として、「学力・体力の向上(授業力の向上)」「GIGAスクール構想の推進」「いじめ防止・不登校対策」「生命の教育の推進」の教育力向上に「層層を上げ、「チーム藤中」を合言葉に、教職員の力を結集し、生徒の夢の実現に向けて努めてまいります。

## 藤久保中学校



【開校年】  
昭和59年  
【校長】  
菅谷 和孝

## 世界のどの街で暮らしてもその街のよき街づくり人になる子

開校百三十五年目となる令和六年度は、十八学級、四百八名の児童として四十四名の教職員でスタート。今年度も「ルールを守る子・チームワークをつくる子・ベストをつくす子」の目標を踏襲しながら、「世界のどの街で暮らしてもその街のよき街づくり人になるよき子」を、学校教育目標に追加。本校の特色として、児童、保護者、地域の方々、教職員の手で整備したジオトープを活用した学習を全校で行っています。児童らが自然環境の大切さを理解し、地球環境について考えを深めてほしいと思っています。そして、グローバルな視点から再度、自分たちの暮らす三芳町を振り返り、ふるさとを誇りに思える子供に育ててほしいと考えています。子供たちが生き生きと活動し、生きる力をはぐくむ学校づくりに励んでまいります。

## 三芳小学校



【開校年】  
明治22年  
【校長】  
金子 睦

## 笑顔いっぱい、生き生きと学ぶ子どもを皆様とともに育みます

学校教育目標を「笑顔いっぱい、生き生きと学ぶ藤の子」としました。具体的には「藤久保小チャレンジ」とし、以下の七つを重点に取り組みます。  
・合理的配慮ができる子を育てる  
・元気に挨拶や返事ができ、感謝を表現できる心豊かな子を育てる  
・確かな学力を定着できる子を育てる  
・健康で体力のある子を育てる  
・安全安心、きれいな学校づくりをする  
・ふるさと三芳・ふるさと藤久保を愛する子を育てる  
・教職員事故の根絶と働きがいのある職場づくりをする  
目標の達成には、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、互いを尊重し、ともに育てていく関係が大切です。子どもたちに寄り添いながら、「チーム藤久保小」で夢と希望の可能性を最大限に伸ばしていきたいと思えます。

## 藤久保小学校



【開校年】  
昭和45年  
【校長】  
松本 正彦

## 教師も児童も共に学び、保護者・地域から信頼される学校

今年度から学校教育目標を「伝えよう、自分を つながろう、ともに」と変更。児童が発信する場や表現する場を多くとり、一人一人の活躍の機会をつくり出せる「プレゼンテーション能力」の開発に力を入れます。また、地域のつながりなどを今更以上に深くするため取り組んでいきます。  
世界農業遺産に登録された「落ち葉堆肥農法」で生産しているさつまいも農家が多い上富地区だからこそ、地域の伝統などを学び、地域の一員として誇りを持つために教育をしていきます。具体的には、落ち葉堆肥農法はもちろん、二富の開拓や上富のお雛子などです。  
今年度も本校は家庭・地域と密に連携をとり、「チーム上富」として力を合わせて一人一人の児童を育ててまいります。

## 上富小学校



【開校年】  
昭和47年  
【校長】  
織部 隆

## 直向きに伸びようとする子どもたちをサポートする学校

本校は今年で開校五十年目を迎えます。「よく考えよう子・思いやりのある子・たくましい子」を学校教育目標とし、「やる気」「勇気」「元気」を合い言葉に、一人一人の笑顔が輝く教育を推進。今年度は「学びに向かう力が伸びる学校づくり」を非認知能力の育成を通して、以下のことに取り組みます。  
①「子どもを主語にした授業づくり」の推進  
②「地域の教育力を取り入れた教育活動の推進」  
特に「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業力向上を図ってまいります。更に学校応援団のご支援を受け、子どもたちの自己肯定感が高まる活動を進めて参ります。地域の皆様と手を取り合いながら、教職員一同「チーム唐沢」として、子どもたちの成長を支えてまいります。

## 唐沢小学校



【開校年】  
昭和50年  
【校長】  
鈴木 恵

## 子供も大人も 夢に向かって 楽しく元気に学ぶ学校

本校は、「わかる」「できる」を大切にしたユニバーサルデザインを基盤とした学校づくりを進めていきます。また、公民館と連携して、地域学校協働本部の研究を進めています。校訓を「やさしく かしく たくましく」とし、学校教育目標を「思いやりのある子・自ら考えよう子・最後までがんばる子」としました。特に、互いのよさや違いを認める学校、子供と保護者に寄り添う学校づくりを大切にしていきたいです。今年度から特別支援学級「たけのこ」が新設されました。どの子も竹間沢小学校の子として、大切にされるようにします。偏見や差別をなくすための最大限の努力をしていきます。また、家庭へのメッセージとして「あなたがい、家庭の会話、楽しもう」を発信し、学校と家庭がスクラムを組んで子供たちの教育活動に取り組んでまいります。

## 竹間沢小学校



【開校年】  
昭和56年  
【校長】  
間中 千恵子